学校だより 文武

【めざす生徒像】
自分のよさを知り、友だちのよさにも
気付き、互いに伸ばし合っていく生徒

修学旅行無事終了
久しぶりに関西方面へ

5月20日～22日の二泊三日で京都市中心部のホテルに連泊し、関西の貴重な文化遺産や歴史、地理等の特色を体験、見学する修学旅行に行ってきました。コロナで遠のいていた関西への修学旅行ですが、ようやく実施することができました。飛鳥時代、平安時代、室町時代、江戸時代の歴史や建築物が揃っている奈良・京都では、歴史上重要な出来事がたくさん起こった地域です。子どもたちにとって本物を観て体験する貴重な機会になったと思います。

◇修学旅行一日目　晴れ
・5時15分　社会体育館　発
・奈良市　奈良公園
「なら和み館」昼食
・東大寺（記念写真）
・薬師寺（法話）
・法隆寺・夢殿
・京都市右京区
「リノホテル京都」宿泊

◇修学旅行二日目　晴れ
・京都市内班別自主研修
主な見学地
北野天満宮、伏見稲荷大社、嵐山
金閣寺、龍安寺、銀閣寺、天竜寺
太秦映画村、貴船神社、車折神社
祇園界隈、（16時30分　宿着）
・ホテルで夕食後、
建仁寺霊源院にて座禅体験

◇修学旅行三日目　晴れ
・清水寺（記念写真）、三十三間堂、
二条城
・13時54分　京都駅発（のぞみ）
・18時45分　川場村着　解散

世の中がコロナ以前の活気を取り戻しつつある現在、修学旅行も以前のように関西方面へと挑戦しました。しかし、今回は土曜出発（団体列車の割り振りで決まってきます）になってしまい、京都に押し寄せる観光客と一緒になることが心配でした。見学のメインは２日目のタクシー班別研修です。ベテランの運転手が安全対策を施しながら見学地の案内もしてくれます。可能な限り密を避けて、効率よく順序等を代えながら廻ってもらえました。

本物を観て、触れることが修学旅行の醍醐味です。子どもたちは京言葉に触れ、世界遺産を目にして、お寺で座禅を体験するなど、普段の経験とは違ったことができて勉強になったようです。

卒業して大人になっても、きっとこの旅行を思い出すでしょう。また、この旅で元気な挨拶や礼儀正しさ、迅速な集合、旺盛な食欲は、川場中のよき伝統であることも確認できました。

多くの方々の御協力の中で実施できた今回の修学旅行。本当にやってよかったと思えるものとなりました。

関わってくださった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

いかなる人間の知識も、その人の経験を超えるものではありません。本物に触れる経験は宝です。

『感謝の心が高まれば高まるほど、それに比例して幸福感が高まっていく』
松下幸之助　名言集より

1年生は日光へ
2年生は東京へ

1・2年生は5月24日に、東京都と栃木県への校外学習を行いました。見学場所は、1年生が日光方面、2年生が東京都内での班別研修です。ここ数年コロナ禍で東京の班別学習は回避してきましたが、3年生の修学旅行同様、東京での班別研修も復活しました。

2年生の主な見学場所は、東京駅、浅草寺、仲見世、サンシャイン水族館、東京スカイツリー、すみだ水族館、上野動物園、新大久保ソウル市場、アメ横等です。池袋の地下などは大人でも迷うほどの複雑さです。どの班も迷いながらも協力し、時間やルールを守りながら頑張りました。この旅行を通して成長し、来年の修学旅行につながる班行動になったと思います。

1年生は、華厳の滝、日光東照宮、陽明門等を見学しました。

東照宮では、有名な『眠り猫』、『見ざる、言わざる、聞かざる、の三猿』『逆さ柱』などの本物を観ることができ、そこに秘められた深い意味について考えることができました。

大きな目的である「川場村と日光を比較し、異なる点や共通点を見つけ、川場村のよさに気づく」ところまでいけたら大成功です。

今回の班活動が、来年の東京旅行につながるようにしましょう。

学校林の下草刈りでは大変お世話になりました

5月13日（土）には、外山村長さん、議員さん、教育委員さん、役場関係者、PTA、3年と1年保護者等たくさんの方々のご協力を得て、伝統の学校林下草刈りを行うことができました。昨年以上に急な斜面をものともせず、子どもたちは元気に、積極的に取り組んでいました。

この活動こそ、本校が本年度県指定を受けた**【非認知能力】**につながるものであると確信します。子どもたちの生きる力を育む貴重な体験活動でした。地域ぐるみで支援していただき、ありがとうございました。

過ぎた失敗を後悔しても何も生まれない。それならば教訓としてとらえ、次の成功に生かそう。